

エコアクション21 環境経営レポート

第10版作成 2024年6月14日作成

対象期間；2023年2月1日～2024年1月31日



有限会社九州植木

《 目 次 》

1. 事業概要	2
1) 事業者名及び代表者	2
2) 所在地	2
3) 環境管理責任者	2
4) 連絡先	2
5) 事業活動の内容	2
6) 対象範囲	2
7) 事業規模	2
8) 推進組織図	2
2. 環境経営方針	3
3. 環境経営目標	4
4. 環境経営目標の実績	4
5. 環境経営計画と取組結果及びその評価	5
6. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	6
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無	7
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	7

1. 事業概要

1) 事業者名及び代表者

有限会社 九州植木
代表取締役 宮野 哲

2) 所在地

〒882-1102 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字押方577番地31

3) 環境管理責任者

EA-21責任者 : 谷口 真紀

4) 連絡先

連絡担当者 : 谷口 真紀
TEL : 0982-72-2769
FAX : 0982-72-6969
E-mail: create-green@abeam.ocn.ne.jp

5) 事業活動の内容

建設業(土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、管工事業、舗装工事業)
(造園工事業、水道施設工事業)

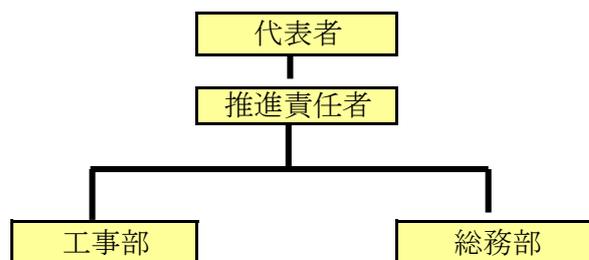
6) 対象範囲(認証・登録範囲)

- ・組織 ……(全社・全組織)
- ・活動 ……(全活動)・建設業(土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、管工事業、舗装工事業、造園工事業、水道施設工事業)

7) 事業規模

項目	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
工事件数	55	66	56	57	24	19
従業員数	9	8	8	5	5	5
事務所床面積(m ²)	70	70	70	70	70	70
資材置場面積(m ²)	664	664	664	664	664	664

8) 推進組織図



2.環境経営方針

環境経営方針

《基本方針》

有限会社九州植木は造園緑化事業・建設事業活動が地球環境に及ぼす影響を認識し、環境負荷の低減を図り、地球温暖化問題に取り組み、循環型社会の一旦を担える様、会社一丸となり、環境活動を推進します。

《活動方針》

- 1.当社は事業活動を通じて環境経営マネジメントシステムを構築し、環境経営目標・環境経営計画を定め、環境経営の継続的な改善に努めます。
- 2.事業活動から発生する環境負荷のうち、以下の事項を重点項目として優先的に取組みます。
 - 1、地球温暖化防止の為、二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
 - 2、造園緑化事業を通じて、地域社会のグリーン化を促進します。
 - 3、剪定枝等は、堆肥化等による循環資源への活用、促進を行います。
 - 4、節水に対する意識を高め、水使用量の削減に努めます。
- 3.環境関連法規制を遵守し、地域社会との調和に努めます。
- 4.創意工夫や新技術活用等で、安全且つ効率的な施工に努めます。
- 5.環境経営方針を全従業員に周知徹底して、環境意識の向上を図り、社外に公開すると共に、地域との環境コミュニケーションを推進します。



制定日：2015年1月31日
改定日：2020年1月31日

有限会社九州植木
代表取締役 宮野 哲

3. 環境経営目標

当社の環境目標は、過去の実績から以下のような目標を設定いたしました。

取組み項目 (目標項目)(単位)	実施区	年度別目標				
		基準値 (2020年2月～ 2022年1月 実績平均値)	2023年度 (2023年2月～ 2024年1月)	2024年度 (2024年2月～ 2025年1月)	2025年度 (2025年2月～ 2026年1月)	
1. 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂)	全社	15,904	15,825	15,745	15,666	
省エネルギー項目	①電気使用量の削減(kWh)	事務所	7,596	7,558	7,520	7,482
	②ガソリン使用量の削減(L)	全社	3,263	3,247	3,230	3,214
	③軽油使用量の削減(L)	現場	1,817	1,808	1,799	1,790
	④建設副産物のリサイクル率向上	現場		95%以上		
2 削減 の 廃 棄 物 の	①一般廃棄物の削減(kg)	全社	17.9	17.8	17.7	17.6
	②建設副産物のリサイクル率向上	現場		95%以上		
3. 水資源使用量の削減(m ³)	全社	94	94m ³ 以内/年			
4. 自らが施工する土木建築物の環境性能の向上及びサービスの改善	現場	—	環境経営計画を遵守する			

※基準値を2020年2月から2022年1月までの2ヶ年実績平均値とする。

※ガソリンは事務所と現場で分けられないため、全社で集計します。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省公表の九州電力調整後排出係数0.480とする。

※一般廃棄物は分別後の最終処分量(焼却+埋立)の削減を目標とします。

4. 環境目標の実績

*2023年2月から2024年1月までの1年間の実績は以下の通りです。

取組み項目	実施区	目標値	実績	達成率	評価	
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	全社	15,825	14,870	106.4%	○	
①電気使用量の削減(kWh)	事務所	7,558	7,702	98.1%	△	
②ガソリン使用量の削減(L)	全社	3,247	2,714	119.6%	○	
③軽油使用量の削減(L)	現場	1,808	1,890	95.6%	×	
2 削減 の 廃 棄 物 の	①一般廃棄物の削減(kg)	全社	17.8	11.0	161.9%	○
	②建設副産物の再利用促進(%)	現場	95.0%	産廃発生無し	—	—
3. 水資源使用量の削減(m ³)	全社	94.0	111.6	84.2%	△	
4. 自らが施工する土木建築物の環境性能の向上及びサービスの改善	全社	環境経営計画を遵守する	環境経営計画を遵守しました	—	○	

※事務所の灯油やLPGを含めた二酸化炭素総排出量は14,991.5 kg-CO₂です。

※事務所の電気と水の評価は△とします。

※期間中の産業廃棄物の発生はありません

5. 環境経営計画と取組結果及びその評価

取組項目	活動内容	取組結果	評価
・電気使用量の削減	①不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底	不在箇所や空調の温度管理、エアコンフィルターの定期清掃、クールビズ・ウォームビズは以前から同居の興梠建設と一緒に意識して節電に取り組んでいるが、会社の施設を一般に賃貸している為、電気使用量の削減目標が難しく今後の課題。(メーターは1個)	○
	②空調温度管理 (夏28℃程度、冬24℃程度)		○
	③照明器具やエアコンフィルターの定期的な点検・掃除		○
	④クールビズ、ウォームビズの推進		○
・ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底(アイドリングストップなど)	基準年と比較して工事件数が大きく減少した事と、エコドライブや現場への相乗り等を徹底して実施している事などから、ガソリン使用量は119.5%の達成となった。今後もエコドライブやアイドリングストップ等を徹底して行く。	○
	②効率の良い配車・相乗りの推進		○
・軽油使用量の削減	①エコドライブの徹底(アイドリングストップなど)	今期は重機を使用する土木工事現場が少なかったが、2月から4月までの3ヶ月間の基準年の使用量が極端に少なかった事で、軽油消費量が95.6%の目標未達成となった。但し、重機類は作業効率と燃費を考えながらのアクセル操作を推進している。	○
	②重機の定期点検整備の実施		○
	③重機のエコ運転の推進(フルアクセルの抑制)		○
・一般廃棄物の削減	①廃棄物の分別計量と記録	社内の廃棄物削減のためにできるだけパソコンで内容を確認する等ペーパーレスを推進したり、梱包材などは業者へ持ち帰りをお願いするなどし、更に分別を徹底した結果161.9%の目標達成	○
	②コピー用紙などの節減 (ペーパーレス化・裏紙使用など)		○
	③資材梱包材の業者持帰り依頼		○
・建設副産物の再利用促進	①できるだけリサイクルの為の分別をする	今年度は、産業廃棄物の発生はありません。	—
	②できるだけ廃棄はリサイクル業者へ依頼する		—
	③残余材が発生しない様こまめな発注と在庫管理の徹底		○
	④剪定木や除草屑等の適正処理		○
・水資源使用量の削減	①蛇口のこまめな開閉による節水	・社内での水使用は飲料とトイレ洗浄くらいで少ない。又、全ての蛇口を閉めて水道メーターの動きを確認する方法で漏水の点検を実施しているが、会社の施設を一般に賃貸している為、水使用量の削減目標が難しく今後の課題。(メーターは1個)	○
	②定期的な漏水点検		○
・自らが施工する土木建築物の環境性能の向上及びサービスの改善	①工事現場では環境配慮型重機 (騒音規制・低排出)を使用する	・現場では、環境配慮型重機の使用を心がけた。又、常に騒音・振動・粉塵等の発生防止に努めた。今期は沿道修景委託業務による除草作業などが多かった為、特に粉塵飛散や薬剤飛散防止に努めた。	○
	②各現場では騒音・振動・粉塵など、予防に努める		○
	③工期短縮の創意工夫を行う		○
・化学物質の管理	①仕様書で必要量を確認して必要量を購入する	・今年度はスミチオンを購入しましたが、全て現場で消費しました。尚、使用に際しては保護具着用や、直射日光を裂けた保管等、SDSで使用上の注意点等を確認しています。	○
	②使用に際してはSDSによる使用上の注意点を現場員へ周知する		○

6. 次年度の環境経営目標と環境経営計画

取組項目		2024年度 目標	活動内容
二酸化炭素排出量の削減		15,745 kg-CO2	・省エネ・省資源活動の実施
エネルギーの削減	・電気使用量の削減	7,520 kWh (事務所) CO2係数 (0.480)	①不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底
			②空調温度管理(夏28℃程度、冬24℃程度)
			③照明器具やエアコンフィルターの定期的な点検・掃除
			④社内におけるクールビス、ウォームビスの推進
	・ガソリン使用量の削減	3,230 L (全社)	①エコドライブの徹底(アイドリングストップなど)
			②効率の良い配車・相乗りの推進
・軽油使用量の削減	1,799 L (現場)	①エコドライブの徹底(アイドリングストップなど)	
		②重機の定期点検整備の実施	
		③重機のエコ運転の推進(フルアクセルの抑制)	
廃棄物の削減・再資源化	・一般廃棄物最終処分量の削減	17.7kg (事務所)	①廃棄物の分別計量と記録
			②コピー用紙などの節減(ペーパーレス化・裏紙使用など)
			③資材梱包材の業者持帰り依頼
	・建設副産物の再資源化率の向上	95%以内	①できるだけリサイクルの為の分別をします
			②廃棄の処理はできるだけリサイクル業者へ依頼する
			③残余材が発生しない様こまめな発注と在庫管理の徹底
			④剪定木や除草屑等の適正処理
	・水資源使用量の削減	94 m3以内/年	①蛇口のコまめな開閉による節水
②定期的な漏水点検			
・自らが施工する土木建築物の環境性能の向上及びサービスの改善	①工事現場では環境配慮型重機(騒音規制・低排出)を使用する		
	②各現場では騒音・振動・粉塵などの予防に努める		
	③工期短縮の創意工夫を行う		
・化学物質の管理	①仕様書で必要量を確認して必要量を購入する		
	②使用に際してはSDSによる使用上の注意点を現場員へ周知する		

今年度の取組結果で特に問題はないため、次年度も継続して取組む。
但し、社会情勢や事業内容の変化があった場合は、適宜見直すこととする。

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業に係る環境関連法規は、担当者が定期的に日建連のURLや協会情報などで確認しています。

尚、関連法規制の遵守状況の確認を実施した結果、違反はありませんでした。

また、関係当局からの指摘、及び地域住民からの訴訟もありませんでした。

現場での遵守状況は、安全パトロールなどで確認しています

※当社の事業に係る主な環境関連法規と遵守状況は以下の通りです。

法規名	遵守事項	遵守評価
廃棄物処理法	委託契約の締結、マニフェストの交付	遵守
	回収・照合確認(発行後B2,D票90日E票180日以内) A表の5年間保管	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告(6月30日までに知事へ報告)	遵守
建設サイクル法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	遵守
	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出	遵守
	分別解体、再資源化促進、再生資源の利用促進	遵守
フロン排出抑制法	・定格出力7.5kW未満の業務用エアコン等の簡易点検実施 (重機搭載のエアコンを含む)	該当工事なし
再生資源利用省令	・再資源利用計画書・実施書の作成 ・再資源利用促進計画書・実施書の作成	遵守
騒音規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	該当工事なし
振動規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下	該当工事なし

8.代表者による全体評価と見直しの結果

2015年2月から環境目標を設定して環境負荷の削減に取り組んできましたが、現在の目標は過去の実績を基準値としている為、私たちの活動の結果が数値に現れない事も多々ありますがこの環境活動は地球温暖化防止に大きく貢献しているのだとの思いを持って、これからも省エネ活動や省資源活動を続ける所存です。